

年頭のご挨拶



NPO法人日本社会福祉愛犬協会

名誉会長 西田まこと (参議院議員)



新しい年が明けました。愛犬家の皆様におかれましては、ワンちゃんとともに、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。私も、ロングチワワの風太が、隣町に住む姉に気持ちよく抱かれて眠る中、親戚一同が会する新年の集いを楽しませていただきました。ワンちゃんも、年が明けたのがわかるのかな、などと思いつつ、お屠蘇を口にそそぎました。

さて、去年は日本社会福祉愛犬協会が設立されて45周年という大きな節目の年でした。5年後には50周年という佳節を迎えることとなります。5年後を目指して、さらなる飛躍が図れるよう、名誉会長という大役を頂いている私も、微力ながら会の発展に尽くしてまいります。

平成の30年は実にさまざまなことがありました。前職は、経済のジャーナリストをしていた関係で、バブルの醸成、そして崩壊、さらには、いわゆる「失われた20年」の実相を見てまいりました。当協会もバブルの崩壊とは無関係ではなく、苦しい時代を経験していますが、平成15年にはNPO法人に移行、平成20年11月の豆柴公認を協会復活の足がかりに、皆様の頑張りにより、窮地から脱してきた歴史でありました。

私は現在、党の動物愛護管理推進委員会の副委員長として、各種団体からご要望を頂いている、ペットの遺棄防止や災害時の迷子対策として、「犬猫へのチップ装着」にも取り組んでおります。地元の埼玉県川口市では、同僚議員が提出した「動物愛護条例」が施行されました。人と動物、とりわけ大好きなワンちゃんが共生できる社会へ、今年も汗をかいてまいります。そして、またワンちゃんとともに、お屠蘇を口にしたいと思います。どうか、本年もよろしく願い申し上げます。

